

令和元年度事業報告

少子化の進行や生活様式の変化、価値観の多様化、情報化の進展、雇用環境の変化などにより、青少年を取り巻く社会環境は大きく変化しています。

非行、不登校、ひきこもり、児童虐待や子供を対象とする犯罪の多発、スマートフォンやインターネットによる有害サイトを介した犯罪被害が増加傾向にあるなど、青少年に関する課題は依然として看過できない状況にあります。

こうした中、子供・若者の健やかな成長を社会全体で支えるために、「地域ぐるみで体験の風をおこそう」をスローガンに地域で活躍する青少年育成県民運動推進委員や各市町村民会議、また、青少年団体等と協働しながら青少年の健全育成活動を実施してまいりました。

さらに、和歌山県とも連携し、青少年自身が青少年を育成するリレー式次世代健全育成の仕組みを促進し、青少年が地域との繋がりを深め、地域づくりに関わっていくためのリーダー育成を積極的に推進してまいりました。

また、「少年メッセージ2019」や「家庭の日」など既存事業のブラッシュアップを図りながら、関係機関と連携し次代を担う青少年の健全育成の強化を図ってまいりました。

1 「地域の育致力」の強化と推進体制づくり

(1) 地域推進体制強化事業

地域社会の大人の一人ひとりが、青少年の育成に関心を持ち、青少年と交流を深め、青少年を見守り育ていく「地域の育致力」の強化と体制づくりを推進しました。

① 市町村民会議等との連携

各市町村を訪問し、意見交換や情報収集等を行うことによるネットワークづくりを推進し、協会事業の円滑な推進と育成活動の充実を図りました。

また、各市町村民会議等との連携を更に強化するため、各地方での総会、研修会に職員を派遣しました。

② 市町村民会議等への支援

地域の子供は地域が育てることを促進するため、県内30市町村にある市町村民会議などが実施する青少年の健全育成にかかる事業を支援しました。

市町村民会議等支援事業

7団体

353千円

(2) 青少年育成県民運動推進事業

青少年育成県民運動のより一層の推進を図るため、各種啓発事業を実施し、青少年の健全育成に対する県民の理解が深まるように取り組みました。

① 青少年育成推進委員会連絡協議会理事会

各地域で県民運動を推進する青少年育成県民運動推進委員の連携を図るため推進委員会理事会を下記のとおり年3回開催しました。

第1回 平成31年4月15日(月) 和歌山ビッグ愛9階 会議室B

◎ 平成30年度事業報告について

◎ 令和元年度事業計画(案)について

◎ 青少年育成指導者関係研修会について など

第2回 令和元年9月2日(月) 和歌山ビッグ愛9階 会議室B

◎ 令和元年度事業経過報告及び今後の計画について

◎ 令和元年度子供・若者育成支援県民大会について など

第3回 令和 2年 2月14日(金) 和歌山ビッグ愛9階 会議室B

- ◎ 令和 元年度事業経過報告について
- ◎ 令和 2年度取り組み(案)について
- ◎ 青少年育成指導者関係研修会の開催について など

② 和歌山県青少年育成指導者関係研修会の開催

各県民運動推進委員の資質向上を目的とした研修会を下記のとおり実施しました。

期 日	会 場	参加数	内 容
令和元年5月12日(日) ～5月13日(月)	ホテル ベルヴェデーレ (すさみ町)	80名	○取組発表① 海南市リーダーズクラブCWPの取組について ○講演・ワークショップ 「子どもの安全をどう守るか －間違いだらけの防犯常識－ 小宮 信夫 氏 (立正大学文学部社会学科教授) ○情報交換会 ○取組発表②「よみきかせオヤジの会」

③ 地方推進委員連絡協議会事業への活動支援

県内8地方の推進委員連絡協議会の活動及び県民運動推進委員に活動費を助成し、地域における県民運動の展開、地域の育成力の強化を図りました。

対 象	補 助 額
青少年育成推進委員会連絡協議会活動事業補助	966千円
各地方青少年育成県民運動推進委員活動補助	

④ 子供・若者育成支援県民大会の開催(県との共催事業)

11月の「子供・若者育成支援強調月間」において、家庭・地域・学校・職場・行政等が一体となった青少年育成県民運動の気運の高揚と県民の理解を促すため開催しました。また、優れた活動を行っている青少年育成指導者や青少年団体を顕彰し、青少年団体活動の一層の推進を図りました。

開 催 日	場 所	内 容
令和元年10月26日(土)	有田市民会館 (有田市)	◎ (公社)和歌山県青少年育成協会会長表彰授与 ・会長表彰 個人(青少年健全育成関係) : 12名 団体(青少年健全育成関係) : 3団体 個人(善行青少年関係) : 5名 団体(善行青少年関係) : 6団体 ◎ 「家庭の日」絵画コンクール優秀作品表彰 ◎ 青少年健全育成巡回活動隊への知事メッセージ伝達式 ◎ 地域の育成力を考えるフォーラム テーマ:「～つなげよう 次世代へ育成力を～」 パネリスト: りら創造芸術高等学校 3年 中村 巴菜 県立神島高校 3年 中嶋 悠大 県立神島高校 3年 間所 侑香 有田市青少年育成推進委員 岩崎 昌司 コーディネーター: 有田市青少年育成市民会議 副会長 宮井 哲也 氏 アトラクション: 県立箕島高校吹奏楽・合唱部による演奏

⑤ 街頭啓発活動

「子供・若者育成支援強調月間」の街頭啓発を下記のとおり実施しました。
実施日 令和元年11月5日(火)【日高地方のみ10月31日(木)に実施】
場所 県内8カ所(和歌山市・各振興局)

⑥ 「夏の子供を守る運動」(7月1日～8月31日)の推進(県との共催事業)

夏場における青少年の非行防止や犯罪被害防止、水の事故防止の啓発活動等を実施している関係団体に啓発用物品(ポケットティッシュ)を支援するとともに、水難防止教室を実施しました。

【水難防止教室】

実施日 令和元年7月12日(金)
場所 岩出市立上岩出小学校

【啓発物品の配布など】

実施日 令和元年7月15日(祝・月)
場所 イオンモール和歌山 パステル等が配布

(3) 「少年メッセージ2019」和歌山県大会の開催

今を生きる中学生が何を考え、何を社会に対して訴えたいのか、また、これからのようなことをしていきたいのかをテーマにした作文を募集し、子供達が人生や社会について考えるきっかけを提供するとともに、地方予選などを通じて選ばれた18名による発表大会を開催しました。大会を通じ、中学生に対する大人の理解を深めるとともに、中学生の社会参加と意識啓発の促進を図りました。

開催日	会場	観客数	県内中学生	応募者数	応募率
令和元年7月27日(土)	橋本市産業文化会館 (橋本市)	約460名	23,809名	10,658名	約44.7%

(県内中学生数は、令和元年度学校基本調査より)

※金賞は、湯浅町立湯浅中学校3年宮本崇行さんが受賞されました。

【「少年メッセージ2019」国内研修】

青少年自身が様々な自然や文化を体験し、異世代間の交流を図り、多様化する社会に対応できる自立心と社会性を身に付けることを目的に、次代を担う青少年リーダー育成のため国内研修を実施しました。

対象者：和歌山県大会発表者

研修日：令和元年8月4日(日)～6日(火)(2泊3日)

研修内容：東京都(宿舎：東京セントラルユースホテル)

1日目

研修「郷土の先輩のお話を聞こう！」

講師：牧田 佑弥 氏(丸新産業株式会社)

研修「郷土の先輩に続け！東京で頑張っている先輩のお話を聞こう①」

講師 浜田 健 氏(株式会社ジェイアール東海ウエル)

研修「郷土の先輩に続け！東京で頑張っている先輩のお話を聞こう①」

講師 金岡 由岐子 氏(文部科学省)

2日目 靖国神社参拝・遊就館見学→文部科学省(和歌山県出身職員と交流)→NTT docomo本社→ホテルでグループワーク

3日目 原宿散策

・参加者 中学生12名 ・引率 パステル3名、事務局4名

(4) リレー式次世代健全育成事業の実施(県委託事業)

青少年自身が地域の青少年を育成するリレー式次世代健全育成事業を通じて、次代を担う青少年育成の循環システムの構築に取り組み、地域における健全育成の体制づくりと育成力の強化を図りました。

また、青少年育成について、様々な年齢層に対して広く意識啓発を行いました。

① 地域の育成力強化ワークショップ

地域での青少年育成システム体制づくりを構築するためのワークショップを実施しました。

和歌山市 9回、御坊市 5回、田辺市 2回、新宮市 6回、紀美野町 6回
 日高川町 1回、印南町 3回、みなべ町 1回、すさみ町 1回、
 那智勝浦町 1回 計 4市6町 35回

② 子供の主体性を育てる活動支援

定期的に活動を実施し、子供の主体性を育てる活動に取り組んでいる団体に支援を行いました。

和歌山市、紀の川市、有田市、日高地方、美浜町、田辺市、すさみ町、古座川町
 計 8地域

③ 地域の育成力を考えるフォーラムの実施
 (子供・若者育成支援県民大会と同時開催)

地域が一体となり、子供・若者を育成していく仕組みづくりに向けて県内の気運を醸成するとともに、当事業に取り組んでいる地域の実例報告や取り組みを紹介することを目的にフォーラムを開催しました。

④ 地域ユース・ジュニアリーダー養成キャンプ(中級)

地域の核となるジュニアリーダーを養成し、地域活動を活発化させるため、下記のとおり(前期、後期)4回実施しました。

開催場所	開催日		参加数		合計	年間合計
			小学生	中学生		
紀北青少年の家	前期	8.14(水)～8.16(金)	—	—	—	38
	後期	12.21(土)～12.22(日)	29	9	38	
白崎青少年の家	前期	9.21(土)～9.23(祝)	29	5	34	34
	後期	3.25(水)～3.27(金)	—	—	—	
潮岬青少年の家	前期	8.18(日)～8.20(火)	34	12	46	68
	後期	12.25(水)～12.27(金)	20	2	22	
合計	前期		63	17	80	140
	後期		49	11	60	
年間合計	前期+後期		112	28	140	140

※前期紀北青少年の家は台風接近のため中止

※後期白崎青少年の家は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

* 地域ユース・ジュニアリーダー養成キャンプ(上級)

リレー式次世代健全育成事業「地域ユース・ジュニアリーダー養成研修」修了者及び各地域のジュニアリーダーの企画力、実行力、指導力などを養う場を提供するため、研修会を開催しました。

・平成31年4月29日(祝・月)～令和元年5月1日(祝・水)

白崎青少年の家 参加者16名

・令和元年7月6日(土)～7日(日)

潮岬青少年の家(串本町)参加者20名

⑤ 和歌山県ユースリーダーズクラブパステル運営

リレー式次世代健全育成事業等の運営補助を通して、資質・能力等を研鑽するなど、会員相互のスキルアップや会員指導を行い、また、様々な地域活動に参画を図り、次代を担う青少年リーダーの育成に努めました。

○発足：平成23年1月5日

○会員数：159名(令和2年3月末)

○ パステルの主な事業

・ 毎月の定例会開催

- 5月 しらす祭りブース出展・和歌祭への参画
地域ユース・ジュニアリーダー養成キャンプ(上級)(白崎)
- 7月 地域ユースジュニアリーダー養成キャンプ(上級)(潮岬)
- 8月 国内研修
地域ユースジュニアリーダー養成キャンプ(中級)(潮岬)
(紀北は台風接近のため中止)
- 9月 地域ユースジュニアリーダー養成キャンプ(中級)(白崎)
- 10月 和歌山城清掃活動
- 11月 しらす祭りブース出展
- 12月 地域ユース・ジュニアリーダー養成キャンプ(紀北、潮岬)
- 3月 地域ユースジュニアリーダー養成キャンプ(上級)(白崎)
地域ユースジュニアリーダー養成キャンプ(中級)(白崎)
(3月の両事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

2 青少年活動の推進と居場所づくり

(1) 各青少年団体等への支援

各青少年団体が活動を強化できる環境を推進するため、下記のとおり各種支援金等で青少年団体への支援を行いました。

① 青少年リーダー活動支援事業

リレー式次世代健全育成事業で育成した小学生や中学生が、企画・運営等に参画する民間団体等の事業を支援しました。(10団体) 692千円

② 青少年団体活動支援事業

青少年団体活動の活性化のため、団体が実施する様々な事業に対し補助しました。(3団体) 800千円

③ わかやま青少年パワーアップ支援事業

青少年団体などが主体となって実施し、会員の資質向上につながる事業等に対して支援しました。(5団体) 591千円

④ 青少年アドバイザー会に対する支援

青少年育成アドバイザー会活動を支援しました。

(2) 青少年育成情報発信事業

各種の青少年団体や育成協会の情報を様々な媒体で効果的に発信することで、青少年活動への参加や交流のきっかけづくりに取り組みました。

① 機関誌「やまびこ」の発行

様々な角度から協会事業や各地方での取組等を紹介し、青少年健全育成事業の理解や参加を促進しました。

② 協会ホームページの運営管理

協会事業をはじめ青少年の育成に関する有益な情報を多くの方に提供しました。

(3) 「家庭の日」運動の推進事業

毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、家族全員が家族のふれあいの大切さなどを再認識するため、各種事業を実施し、明るい家庭づくりの推進と絆づくりに取り組みました。

① 「家族そろって新入生」啓発リーフレットの作成

小学校入学前の子供を持つ保護者を対象として、家庭での教育やしつけに関することなどを中心に、保護者と子供を応援するためのリーフレット10,000部を作成し、幼稚園、保育所、子ども園等を通じて配布し、子育てを支援しました。

② 家庭の日絵画作品募集事業

家族にまつわる絵画を募集し、作品に表現された「ふれあいとやすらぎ」のある家庭像をもって、家族や家庭の大切さについて改めて県民の理解を得るための啓発活動を行いました。

応募総数 321点

入賞作品 10点 (うち優秀作品：ファミリー賞2点、やすらぎ賞1点、ふれあい賞1点)

入賞作品は、協会カレンダー及びホームページ等に掲載しました。

(4) 青少年活動センター活性化事業(県委託事業)

和歌山県青少年活動センターにおいて、青少年の健全な育成を図り、青少年活動に関する交流を推進し、県内の青少年団体等の指導者を育成することを目的に実施しました。

講座・教室

事業数 12回

事業内容 親子サイエンス(科学)教室①～③、親子そば打ち体験教室①②

親子木工体験教室①～③ 親子ドローン体験教室①②

親子防災クラフト教室①② など

参加者数 530名

3 協会の体制と財政基盤の充実強化

青少年問題は大人社会の鏡であるという認識のもと、地域の大人一人ひとりが青少年を育成する自覚を持って青少年に模範を示し、地域における人と人とのつながりや地域社会と関わることの大切さを再認識できる地域づくりを推進しました。

そのため、和歌山県とも連携し、各市町村民会議や各関係団体と協働して健全育成活動を推進することで、効果的に事業を実施し、青少年育成県民運動に積極的に取り組み、カレンダー、啓発用リーフレットを作成・配付することにより、当協会が県民に青少年の健全育成に取り組んでいることをPRするとともに、関係団体との連携を深めてまいりました。

また、当協会の設立趣旨に賛同していただけるより一層の新規会員の加入促進を図り、財政基盤の充実を図るとともに、効率的な事業運営に努めました。

年度	正会員			賛助会員	合計	会費収入		合計
	個人	団体	計			正会員	賛助会員	
平成28	487	114	601	129	760	1,411,000	1,710,000	3,121,000
平成29	468	114	582	166	748	1,338,000	1,800,000	3,138,000
平成30	446	115	561	184	745	1,284,000	1,900,000	3,184,000
令和元	425	113	538	183	721	1,265,000	1,880,000	3,145,000
増減	▲21	▲2	▲23	▲1	▲24	▲19,000	▲20,000	▲39,000

- * 会員数は、各年度の3月31日現在
- * 会費収入は、各年度の決算時現在
- * 増減は、平成30年度(昨年度)比較

4 協会組織・運営等

(1) 通常総会・懇親会

令和元年6月18日(火) ビッグ愛1階大ホール

- 第1号報告 平成30年度事業報告について
- 第1号議案 平成30年度収支決算報告及び監査報告について
- 第2号報告 令和元年度事業計画及び収支予算について
- 第2号議案 役員を選任について

(2) 理事会

第1回 令和元年5月15日(水) 和歌山ビッグ愛9階 会議室A

- ◎ 令和元年度通常総会に提案する議題等について
 - ・平成30年度事業報告及び決算報告
 - ・令和元年度事業計画(案)及び収支予算(案)
 - ・役員を選任
- ◎ その他の議案について
 - ・通常総会の日程
- ◎ 会長の職務執行状況について〔報告〕 など

第2回 令和元年9月11日(水) 和歌山ビッグ愛9階 会議室A

- ◎ 令和元年度事業経過報告及び今後の計画について
- ◎ 令和元年度子供・若者育成支援県民大会について
- ◎ 子供・若者育成支援県民大会における会長表彰の承認について など

第3回 令和2年3月18日(水) 和歌山ビッグ愛9階 会議室A

- ◎ 令和元年度事業経過報告及び収支補正予算(案)について
- ◎ 令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- ◎ 会長・常務理事の職務執行状況について(報告) など